

取扱説明書

施工店様へのお願い

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

品番	規格	対応
NE 35515	スクエア 50	2P 15A 125V アース付2コ口 + 弱電用ブランク2コ口
NE 35517	スクエア 70	
NE 35519	スクエア 90	抜け止め 2P 15A 125V アース付2コ口 + 弱電用ブランク
NE 35525	スクエア 50	弱電用ブランク2コ口 × 2
NE 35527	スクエア 70	
NE 35529	スクエア 90	電源・弱電用ブランク + 弱電用ブランク

このたびは、パナソニック製品をご採用いただき、まことにありがとうございます。
 ■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 ■ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
 ■この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

◎人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。
- お守りいただく内容を右の図の記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



禁止

- 製品の改造はしない
火災や感電のおそれがあります。
- 負荷容量を超えて使用しない
発熱するおそれがあり、火災や焼損のおそれがあります。



必ず守る

- プラグをコンセントに確実に差し込む
守らないと、火災や焼損のおそれがあります。
- 湿気の多い場所では使用しない
感電の原因になります。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



禁止

- 水や洗剤、ワックスなどをかけない
感電や漏電のおそれがあります。
- 表面の汚れを落とすときは、ベンジンなどの引火性の強い薬品は使用しない
火災のおそれがあります。
- 通行の障害になるようなときは、使用しない
人がつまずき、けがのおそれがあります。



必ず守る

- 使用しないときは、コードチップを収納する人がつまずき、けがのおそれがあります。
- プラグは、定期的に点検を行い、乾いた布で、ホコリを取り除く
焼損や発火の原因になります。
- 濡れているコンセントやプラグには触れない
感電の原因になります。

使用上のご注意

- 重いものを落としたり、ぶつかけたり、強い衝撃を与えないでください。
変形や破損のおそれがあります。
- 横型キャップ、プラグ一体型のACアダプタや充電器はご使用いただけません。
キャップの抜き差しができません。

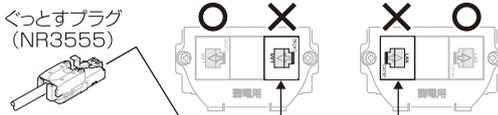
<プラグの適合表>

品名	ベターキャップ	丸型キャップφ39以上	丸型キャップφ28~φ38	横型キャップ	接地付OAプラグ	スナップキャップ	ぐっとすプラグ
スクエア50	○	×	×	×	○	○	×
スクエア70	○	×	×	×	○	○	×
スクエア90	○	×	○※1	×	○	○	○※2

※1 キャップの形状、差し込む位置によって使用できない場合があります。

※2 ぐっとすプラグ[別売]を使ったLANケーブルをご使用の場合、右図の向きで取り付けているLANコンセントはプラグの抜き差しができません。

ぐっとすプラグ (NR3555)



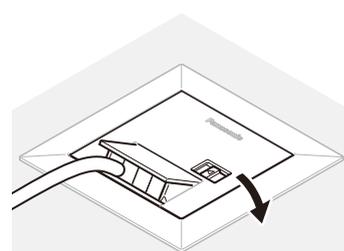
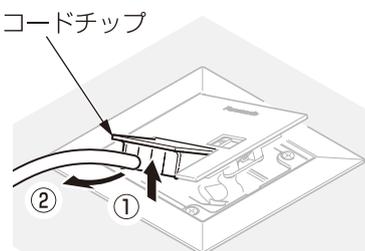
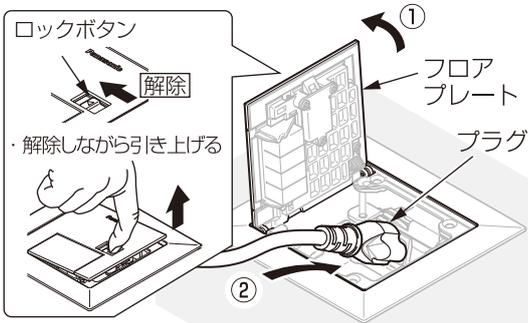
- 安全点検などで電源コンセントの交換が必要な場合は、施工店へご相談ください。

■施工店様へ NE35519はWTF11624WK[別売]の絶縁枠を、必ずしてご使用いただけます。

1 フロアプレートをあけ、プラグを差し込む

2 コードチップを上げ、コードを通す

3 フロアプレートを閉じる



ご使用方法

<抜け止めコンセントについてのご注意>

- 抜け止め状態で無理に引き抜かないでください。コンセントの刃受けが変形し、電源プラグを保持する力が低下したり、破損の原因になります。
- 電源プラグの抜き差しを頻繁に行う場所では使用しないでください。
- 電源プラグの刃の保持部がゴム製などで軟らかい場合、容易に回すことができない場合があります。
- 極性付電源プラグは使用できません。

電源プラグの刃



差し込み／引き抜き位置



抜け止め状態

電源プラグを差し込んで右に回すと、抜け止め状態になり簡単に抜けにくくなります。必ず、抜け止め状態でお使いください。はずす場合は、左に回してから引き抜いてください。

製品には寿命があります。・・・安全にご使用いただくために、年1回の点検をおすすめします。

使用環境の影響、または製品の劣化などにより、正常に動作しなくなったときは、製品の寿命です。他のスイッチやコンセントも含め、定期的に点検いただき、特に安全にかかわる下記の症状が見られたとき、使用を中止し、施工店にご相談ください。

施工日(お引き渡し日) 年 月 日 点検表

点検部位	チェック内容	点検年月日・点検者・点検結果(有・無を記入)										処置方法		
		点検日											点検者	
フロアプレート部	施工状態異常の有無													
	フロアプレートのがたつき													・取付けねじを締める ・スパーサーで調整
	外観異常の有無													
	フロアプレートの割れ・変形・紛失													フロアプレート交換 (DUB1101)
	コードチップの割れ・変形・紛失													
	フロアプレート開閉異常の有無													
	フロアプレートが開かない													フロアプレート交換 (DUB1101)
	フロアプレートが閉まらない													
コードチップが開かない														
コードチップが閉まらない														
器具ユニット部(内部)	電源コンセント部異常の有無													
	プラグを差し込んでも通電しない													電源コンセント交換
	変色・膨れ・ヒビ割れ													
	プラグを抜き差しする力が極端に弱い													
	コンセント部に付着したごみが清掃してもとれない													
	施工状態異常の有無													
器具のがたつき													取付けねじを締める	
製品全般	異常発熱の有無													
	製品が異常に熱い													交換
	こげくさい臭い													
	使用環境異常の有無													
浸水や多量の水が製品にかかった													交換	

●製品の保証期間は、施工日(または入居日)から1年間です。故障が起きた場合は、施工日を特定のうえ、お申し出ください。

アフターサービス パナソニック お客様ご相談窓口のご案内

■使い方・お手入れ・修理などは、まず施工店へご相談ください。なお、相談先でお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

住まいの設備・建材 サポートサイト
<http://sumai.panasonic.jp/support/>

ライフソリューションズ 修理サービスサイト
<http://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

使い方・お手入れなどのご相談 【受付時間】 365日/9:00~18:00

パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター

フリーダイヤル パナは ナットク **0120-878-709**

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「8」と「7#」を押してください。(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)

■左記電話番号がご利用いただけない場合 **06-6906-1109**

■FAX フリーダイヤル **0120-872-460**

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka(06)6645-8787
 Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

修理に関するご相談 【受付時間】 月~土/9:00~19:00 日・祝日・年末年始/9:00~18:00

パナソニック ライフソリューションズ 修理ご相談窓口

フリーダイヤル パナニ イコー **0120-872-150**

■左記電話番号がご利用いただけない場合 **06-6906-1090**

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
 パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

Panasonic[®] インナーコンセントスクエア 90

施工説明書

品番	NE 35519	抜け止め2P 15 A 125 V アース付2コ口+弱電用プランク
	NE 35529	電源・弱電用プランク+弱電用プランク

- この製品の施工には、電気工事士の資格が必要です。
- 施工前に必ずこの説明書をお読みください。
- お客様に製品説明をしていただき、必ず取扱説明書をお渡しください。

配線器具にも寿命があります。取付場所や使用状況によって異なりますが、10年*を超えたものは、特に点検が重要です。*：製品の保証期間ではありません。

安全上のご注意 必ずお守りください

警告



禁止

- 通行の障害になるような場所に取り付けない
人がつまずき、けがの原因になります。
- 改造しない
火災や感電のおそれがあります。
- 曲がったり、傷ついたり、変色した電線は使用しない
発熱して火災の原因になります。
- 通電状態で結線作業をしない
火災や感電のおそれがあります。
- ベンジンやシンナーなど引火性溶剤でふかない
火災や感電および表面の変色の原因になります。



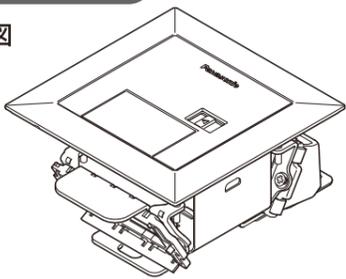
必ず守る

- 結線するときは、電線を奥まで確実に差し込む
差し込み不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因になります。
- 接地端子（裏面）に接地された電線を確実に結線する
結線および接地が不十分な場合、コンセントに接続された負荷機器が漏電したとき、感電の原因になります。
- 容易に点検できる乾燥した場所に取り付ける
火災や感電のおそれがあります。

各部のなまえ (図はNE35519です)

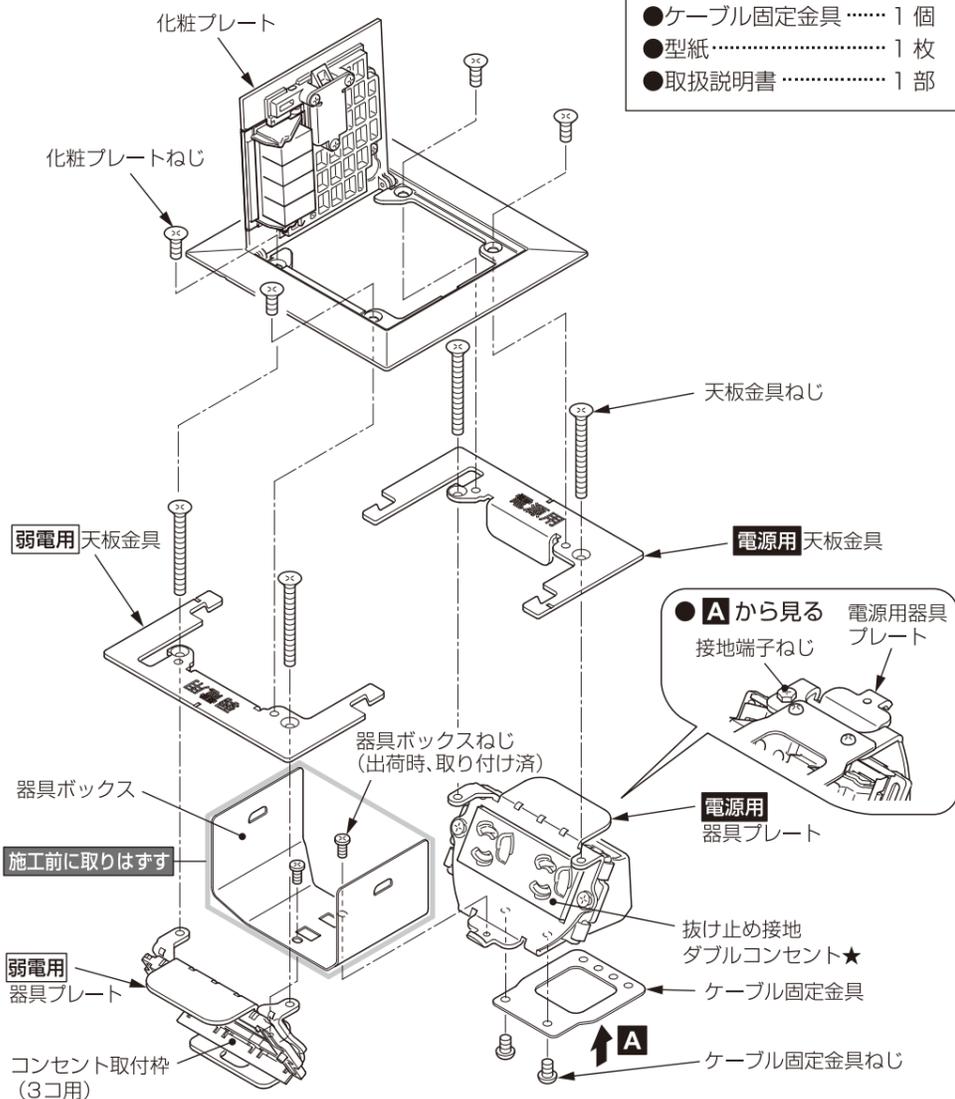
器具ユニット

製品姿図



付属品

- 化粧プレートねじ(黒)
皿小ねじ(M4) …… 4本
- 天板金具ねじ(黒)
皿ねじ(M4×35) …… 4本
皿ねじ(M4×40) …… 4本
- ケーブル固定金具ねじ(銀)
なべ小ねじ(M4) …… 2本
- 結束バンド …… 2本
- ゴム板(4 mm) …… 4個
- ケーブル固定金具 …… 1個
- 型紙 …… 1枚
- 取扱説明書 …… 1部



*NE35529には★印の部品は同梱されません。

施工前のご確認

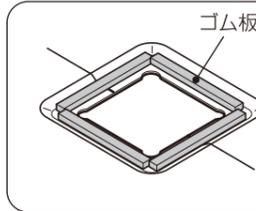
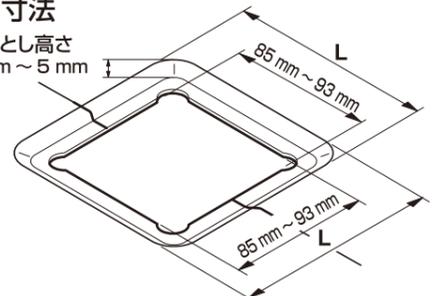
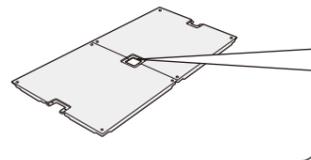
- ご注意 表面材は下記のものをご使用ください。
・タイルカーペット 6 mm ~ 8 mm ・ビニル床タイル 4 mm ~ 5 mm

フロアパネルの形状・寸法

- 開口付フロアパネル(2枚)
他社製パネルにも使用できます。

開口寸法

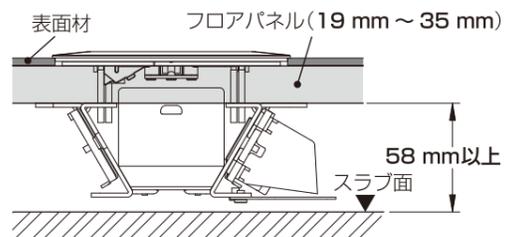
段落とし高さ
4 mm ~ 5 mm



※L寸法が113 mm以上の場合、ゴム板(同梱)をフロアパネルに貼り付けてください。
※段落とし高さが3 mm以下または6 mm以上の場合、別途、市販のゴム板(硬度65°程度)をお買い求めいただき、段落とし部の段差をなくしてください。

フロアパネルの厚みと床の収納スペース

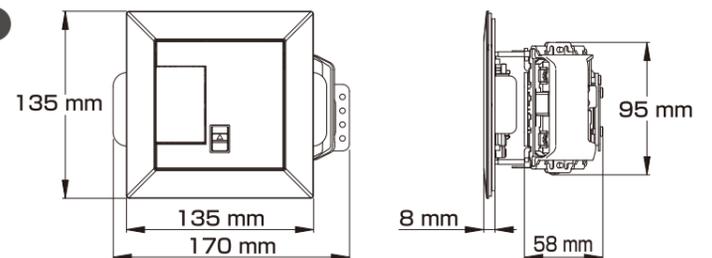
- フロアパネルの厚みを確認してください。
厚み18 mm以下の場合、プラグの抜き差しができないおそれがあります。
- スラブ面から58 mm以上のスペースを確保してください。



寸法図

NE35519

NE35529



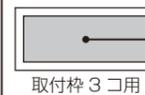
施工上のご注意

- 強度不足の二重床には使用しないでください。
破損や化粧プレートが開閉できないおそれがあります。
- テレビコンセントは結線したケーブルの引き出し方向によって、隣接するコンセントや器具プレートに干渉する場合があります。位置、方向、床高を確認して施工してください。(詳しくは、裏面の「コンセントの取り付けについて」をご覧ください。)
- 平坦な場所に取り付けてください。
平坦でない場所に取り付けると、破損や化粧プレートの開閉ができないおそれがあります。
- フロアパネルに開口部を設ける場合は、開口場所をフロアパネルメーカーに必ず確認してください。開口部は□90±2 mm 寸法でカットしてください。
フロアパネルメーカーに確認をしないと、強度低下のおそれがあります。
- 弱電用の取付枠へ電源コンセントを取り付けしないでください。
ケーブル固定金具がないためケーブルの固定ができず、結線不良の原因になります。
また、電源プラグの抜き差しができません。
- 天板金具ねじでフロアパネルに堅固に取り付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。
製品の変形や破損の原因になります。
- 弱電用コンセントの端子部に力が加わらないよう、電線に張り止めをしてください。
通信不良の原因になります。
- OAフロアに施工する場合は、接地ダブルコンセントを推奨しています。

当社製適合配線器具【別売】

● 埋込テレホンモジュラジャック (WNT15649など)	● 埋込情報モジュラジャック (NR3160, NR3170など)	● ブランクチップ (WN3020020など)
● 埋込ISDN用モジュラジャック (WNT1881Kなど)	● テレビターミナル (WCS3814Wなど)	
● 接地ダブルコンセント (WN15123など)	● ダブルコンセント (WN1402など)	● トリプルコンセント (WN1403など)
● 埋込コンセント (WN1001010など)	● 抜け止めコンセント (WN1061など)	● 扉付コンセント (WN1051など)

*医用コンセントは使用できません。



施工方法 (図はNE35519です)

●施工手順は右記の製品で説明しています。

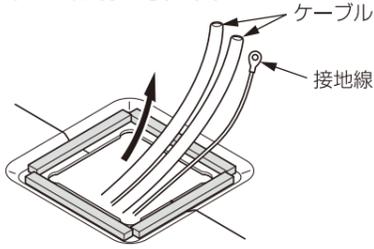
フロアパネル：当社製ワイヤリングフロアLS3000(コンセント設備パネル)
表面仕上げ：市販の表面材(タイルカーペット 厚さ6.5 mm)

ご注意 施工前に、器具ボックスをはずしてください。(表面の「各部のなまえ」をご覧ください。)

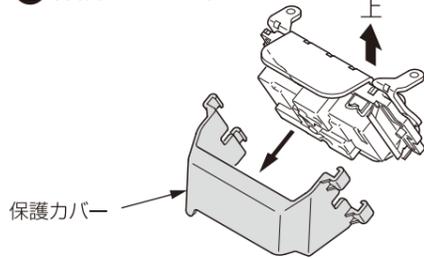
1. 器具の取り付け

■電源コンセントの取り付けについて

① 床から配線を引き出す

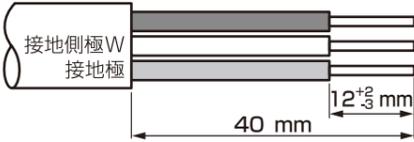


② 保護カバーを取りはずす

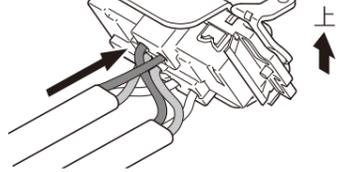


③ 電線被ふくをむく

適用電線：φ1.6 φ2 Cu(銅)単線専用
より線にはWV2500棒型圧着端子をご使用ください。

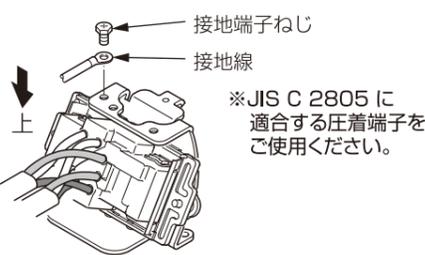


④ 1本ずつ奥まで差し込む



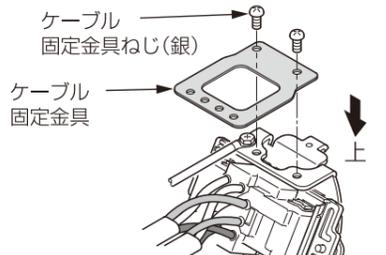
⑤ 接地線を接続する

● 適正締め付けトルク：0.6 N・m ~ 1 N・m

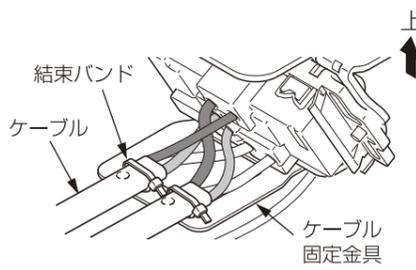


⑥ ケーブル固定金具を取り付ける

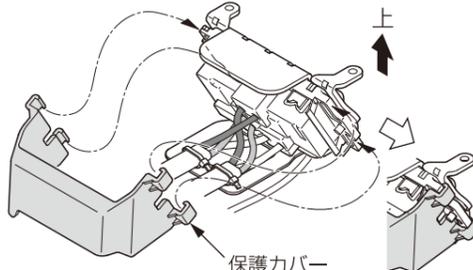
● 適正締め付けトルク：0.6 N・m ~ 1 N・m



⑦ 結束バンドでケーブルを固定する

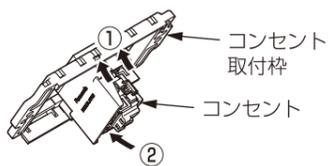


⑧ 保護カバーを取り付ける

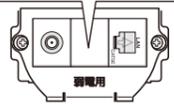


コンセントの取り付けについて

●コンセントは、表面の「当社製適合配線器具」をご確認ください。(図はNR3160です)



器具を取り付けない箇所は、
ブランクチップを使用してください。



ご注意

- テレビコンセントは2コまで取り付けできます。同軸ケーブルが干渉するため3コ取り付けできません。
- テレビコンセントとLANコンセントを組み合わせる場合、LANコンセントを中央に取り付けてください。テレビコンセントを中央にすると、同軸ケーブルが干渉して取り付けできません。
- LANコンセントは3コ取り付けることができます。
- NE35529に電源コンセントを取り付ける場合は、器具の取り付け後に「電源コンセントの取り付けについて」の手順で施工してください。
- 弱電用コンセントを取り付ける場合は、保護カバーの取り付けは必要ありません。

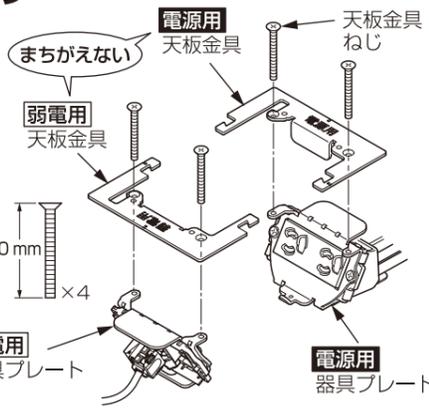
2. パネルへの取り付け

① パネルの厚みを測り、天板金具ねじの長さを決める(下表参照)

② 天板金具と器具プレートを仮固定する

ご注意

- 27 mm以下のパネルには35 mmのねじを使用してください。40 mmのねじを使用すると、パネルの取り付けに不具合が発生し、コンセントの抜き差しができなくなるおそれがあります。
- NE35529の場合は、器具プレート、天板金具に弱電用の刻印があるもの同士で仮固定してください。



■天板金具 ねじ長さとおパネル適合表

【2016年3月現在 当社調べによる】

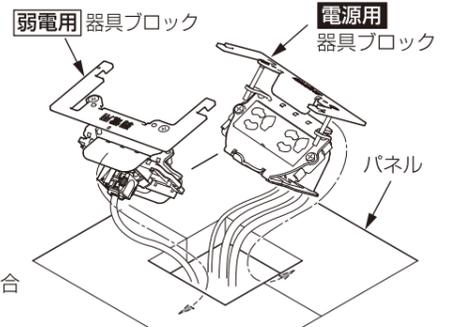
パネルメーカー	当社製	ニチアス(株)		センクシア(株)		ナカ工業(株)		ジャロネット トレーニング(株)		共同カイテック(株)		その他※		
商品名	LS3000 LS5000	TS305 TS505 (中止品)	シグマフロア	オメガ フロア	GCA 500	FS/A/KSA FSB/KSB 500	IBフロア AF/AN タイプ	IBフロア AZ タイプ	DDF タイプ	クワッドフィックス 600				
パネル厚み(mm)	25	26.6	23.5	26	29	29	24	28	23	28	28	19	23~27	28~35
ねじ長さ 35 mm	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	○	—
ねじ長さ 40 mm	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	○	—	—	○

※その他は目安であり、パネル取付状態によってねじ長さを選定してください。

③ 器具ブロックを斜めにしながらパネル開口部に入れて、パネルにのせる

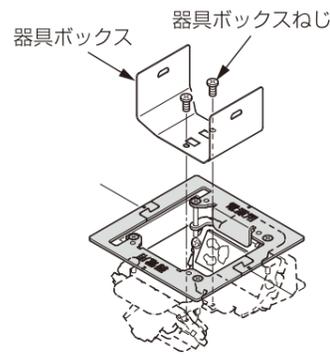
ご注意

- パネルの開口サイズが小さくて入れにくい場合は、パネルを開けてください。
- 90度回転して取り付ける場合、下記の不具合があると器具の取り付けができません。
 - ・パネル開口部裏面の形状により器具が変形した場合
 - ・プラグの抜き差しができない場合



④ 器具ボックスを取り付ける

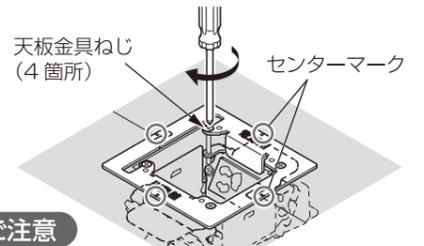
● 適正締め付けトルク：
0.4 N・m ~ 0.6 N・m



⑤ 天板金具のセンターマークを目安に位置を決める

⑥ 天板金具ねじでパネルに固定する

● 適正締め付けトルク：0.1 N・m ~ 0.6 N・m

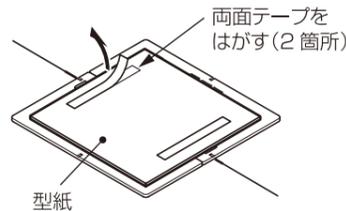


ご注意

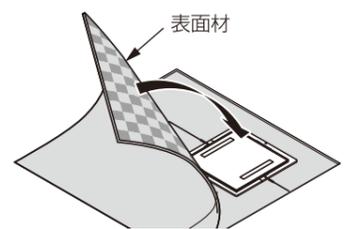
強く締め付け過ぎないようにしてください。器具の変形やプラグの抜き差しが容易にできないなど、不具合が生じる場合があります。

3. 表面材、化粧プレートの取り付け

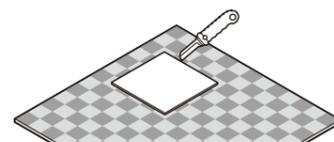
① 付属の「型紙」をフロアパネル開口部の中央に置く



② 上から表面材(タイルカーペット)を置いて、軽く押さえて裏面に型紙を貼り付ける



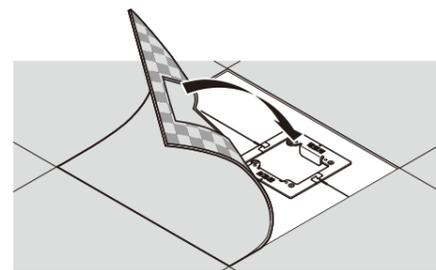
③ 表面材を裏返し、型紙に沿ってカットする



参考 表面材の開口部

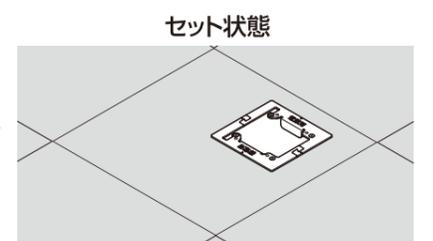
□126±1 mm寸法で、4隅は直角(R1 mm以下)にカットしてください。

④ フロアパネルに表面材を敷設する



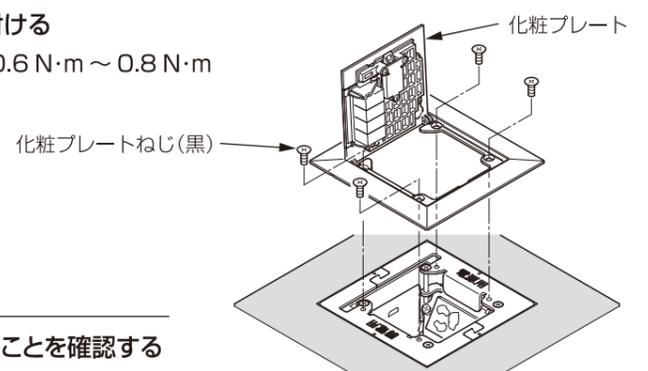
ご注意

厚みが4 mmのビニル床タイルなどは、天板金具と化粧プレート間に隙間ができます。ゴム板(市販)を両面テープなどでフロアパネルに貼り付けて隙間をなくしてください。



⑤ 化粧プレートを取り付ける

● 適正締め付けトルク：0.6 N・m ~ 0.8 N・m



⑥ 化粧プレートが閉まることを確認する

施工後の安全点検と確認

必ず行ってください。

- 電線は奥まで差し込まれているか
- 化粧プレートにがたつきはないか
- 化粧プレートは閉まるか